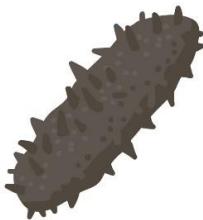
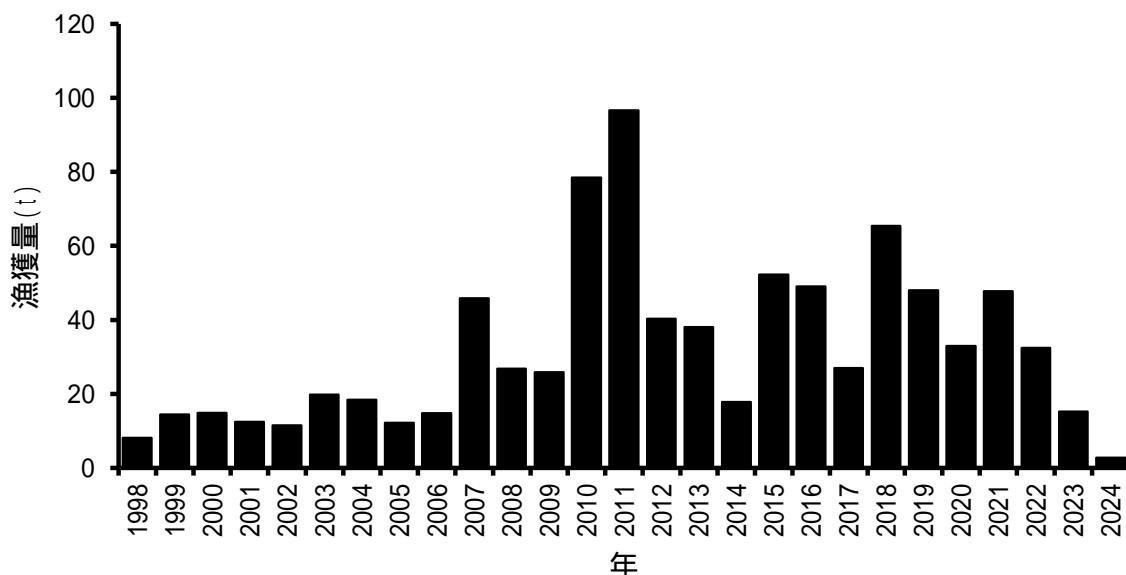


千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度漁獲動向

マナマコ



- ・ 潜水器、小型機船底びき網などで漁獲される。
- ・ 主な生息場所は内湾の砂泥地である。
- ・ 夏季に水温が上昇すると夏眠し、活動が不活発になり、体重が大きく減少する。
- ・ 体色が異なるクロ、アオ、アカの三型のナマコは全てマナマコとされていた時期があったが、現在はクロナマコ、アオナマコがマナマコと定義されている。

漁獲量

県内主要漁協における漁獲量の経年変化（千葉県調べ）

“ナマコ”の銘柄が設定されている県内5地区のナマコ漁獲量は、2003年以降増加し、2011年に97tを記録したが、その後減少し、2014年には18tとなった。その後は増加傾向となり、2018年に65tとなったが、以降は減少し、2024年には3tとなった。

備考

- ・ 本県で“マナマコ”銘柄が設定されている地区はない。
- ・ 多くの地区で“ナマコ”として水揚げされているが、外房地区ではアカナマコ、銚子地区ではオキナマコが混在していると考えられ、詳細な漁獲実態は不明である。
- ・ 水揚げデータがなく、漁獲金額のみ集計されている地区があり、重量単位ではなく、個数単位で取引されている。
- ・ 本種の資源評価を進めるためには、各市場で“マナマコ”銘柄の設定と共に重量単位での取引を徹底してもらい、本種単独の水揚げデータの蓄積を図る必要がある。